

糸魚川市の観光の状況について (平成 28 年度版)



(高浪の池)

糸魚川市交流観光課

平成 29 年 6 月

目次

◆ 調査概要

| | | |
|---|-------|---|
| 1 | 調査の期間 | 1 |
| 2 | 調査方法 | 1 |
| 3 | 調査地点 | 1 |

I 平成 28 年度の糸魚川市の観光の現状

| | | |
|---|--------------------------|---|
| 1 | 平成 28 年度の観光客の入込状況(概況) | 2 |
| 2 | 平成 28 年度の月別・目的別観光入込客数 | 2 |
| | (1) 月別観光入込客数 | |
| | (2) 目的別観光入込客数 | |
| 3 | 平成 28 年度の目的別観光入込客数の前年度比較 | 4 |
| | (1) 温泉施設 | |
| | (2) 自然景観 | |
| | (3) 名所・旧跡 | |
| | (4) 文化施設 | |
| | (5) 産業観光 | |
| | (6) 祭・イベント | |
| | (7) 海水浴 | |
| | (8) スキー場 | |
| | (9) 登山・ハイキング・キャンプ場 | |
| | (10) その他(ゴルフ場・釣り・プール等) | |

II 平成 28 年度の宿泊者の入込状況

| | | |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 平成 28 年度の宿泊者の入込状況(概況) | 9 |
| 2 | 平成 28 年度の月別・割合別宿泊者数 | 9 |
| | (1) 月別宿泊者数の前年度比較 | |
| | (2) 県内・県外来訪の宿泊者数の割合 | |
| 3 | 平成 28 年度の県内・県外宿泊者数の前年度比較 | 10 |
| | (1) 県内来訪の宿泊者数の前年度比較 | |
| | (2) 県外来訪の宿泊者数の前年度比較 | |

III 過去の入込客統計調査との比較

| | | |
|---|------------------------|----|
| 1 | 観光入込客数の推移 | 11 |
| 2 | 目的別観光入込客数の推移と県入込客数との比較 | 12 |
| | (1) 温泉施設 | |
| | (2) 自然景観 | |
| | (3) 文化施設 | |
| | (4) 産業観光 | |
| | (5) 祭・イベント | |
| | (6) 海水浴 | |
| | (7) スキー場 | |
| 3 | 宿泊者数の推移と県入込客数の比較 | 16 |
| 4 | 外国人宿泊者数の推移と県入込客数の比較 | 16 |

IV 経済効果

| | | |
|---|---------------------|----|
| 1 | 平成 28 年度の観光における経済効果 | 17 |
| 2 | 過去の観光における経済効果 | 17 |

V 平成 28 年度に講じた施策

| | | |
|---|-----------|----|
| 1 | 誘客宣伝活動の促進 | 18 |
| 2 | 受入態勢の充実 | 19 |

◆ 調査概要

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」(平成 21 年 12 月観光庁策定)に準拠し、観光入込客数などを推計等したものである。

1 調査の期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

※ 比較のため平成 27 年度の観光入込統計結果を引用した。

2 調査方法

(1) 観光入込客統計調査

四半期ごとに、市内の観光地点の管理者、祭行事・イベントの主催者等に対して入込客数を調査し、集計した。

(2) 宿泊客数調査

1 年ごとに、市内の宿泊施設に対して県内から来訪者した宿泊者と県外から来訪した宿泊者を分けて宿泊客数を調査し、集計した。

(3) 海水浴客入込客数調査

海水浴場開設期間中に 10 日ごとに入込客数を調査し、集計した。

3 調査地点

観光入込客調査地点は以下の 116 箇所である。

| 対象 | 主な施設名称 | 対象箇所 |
|----------------|--------------------------|------|
| 温泉 | 柵口温泉、姫川温泉等 | 14 |
| 自然景観 | 高浪の池、小滝川ヒスイ峡等 | 9 |
| 名所・旧跡 | 翡翠園・玉翠園・谷村美術館、相馬御風宅等 | 7 |
| 文化施設 | ジオパル、フォッサマグナミュージアム等 | 10 |
| 産業施設 | マリンドリーム能生、ヒスイ王国館等 | 7 |
| 祭・イベント | おまんた祭り、荒波あんこう祭り等 | 41 |
| 海水浴 | 能生海水浴場、糸魚川海水浴場、親不知海水浴場等 | 6 |
| スキー場 | シーサイドバレースキー場、シャルマン火打スキー場 | 2 |
| 登山・ハイキング・キャンプ場 | 雨飾山登山、荒崎キャンプ場等 | 14 |
| その他 | 糸魚川カントリークラブ、溪流釣り等 | 6 |

I 平成 28 年度の糸魚川市の観光の現状

1 平成 28 年度の観光客の入込状況(概況)

- 平成 28 年度はイベント数の減少や新幹線開業 2 年目ということもあり、前年比で 91.0% となった。

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日

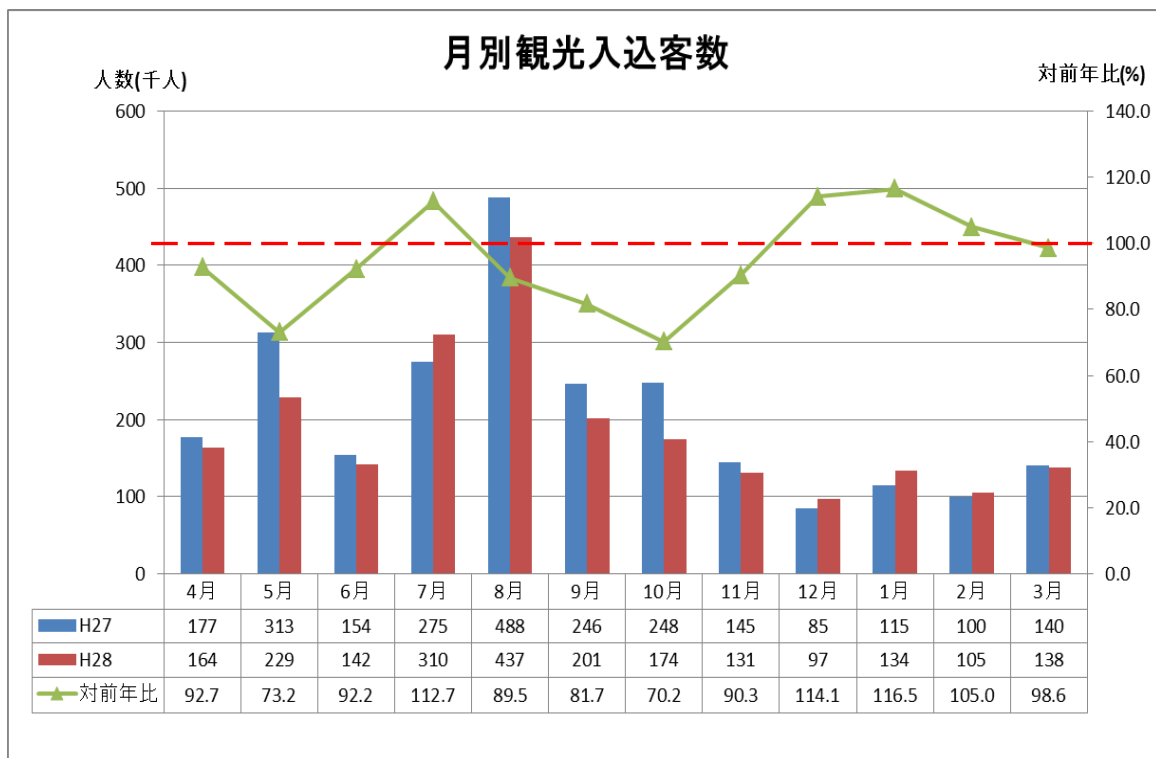
総数 2,262,870 人 (対前年比 91.0%、224,230 人減)

※ 平成 27 年度総数 2,487,100 人

2 平成 28 年度の月別・目的別観光入込客数

(1) 月別観光入込客数

- 前年同様、8 月が月別で最大の入込客数を記録している。
- 7 月 (112.7%) は親不知レンガトンネルのオープンにより前年比で増加している。
- 12 月 (114.1%)、1 月 (116.5%)、2 月 (105.0%) は糸魚川駅北大火により、前年より入込客数が増加したと考えられる。



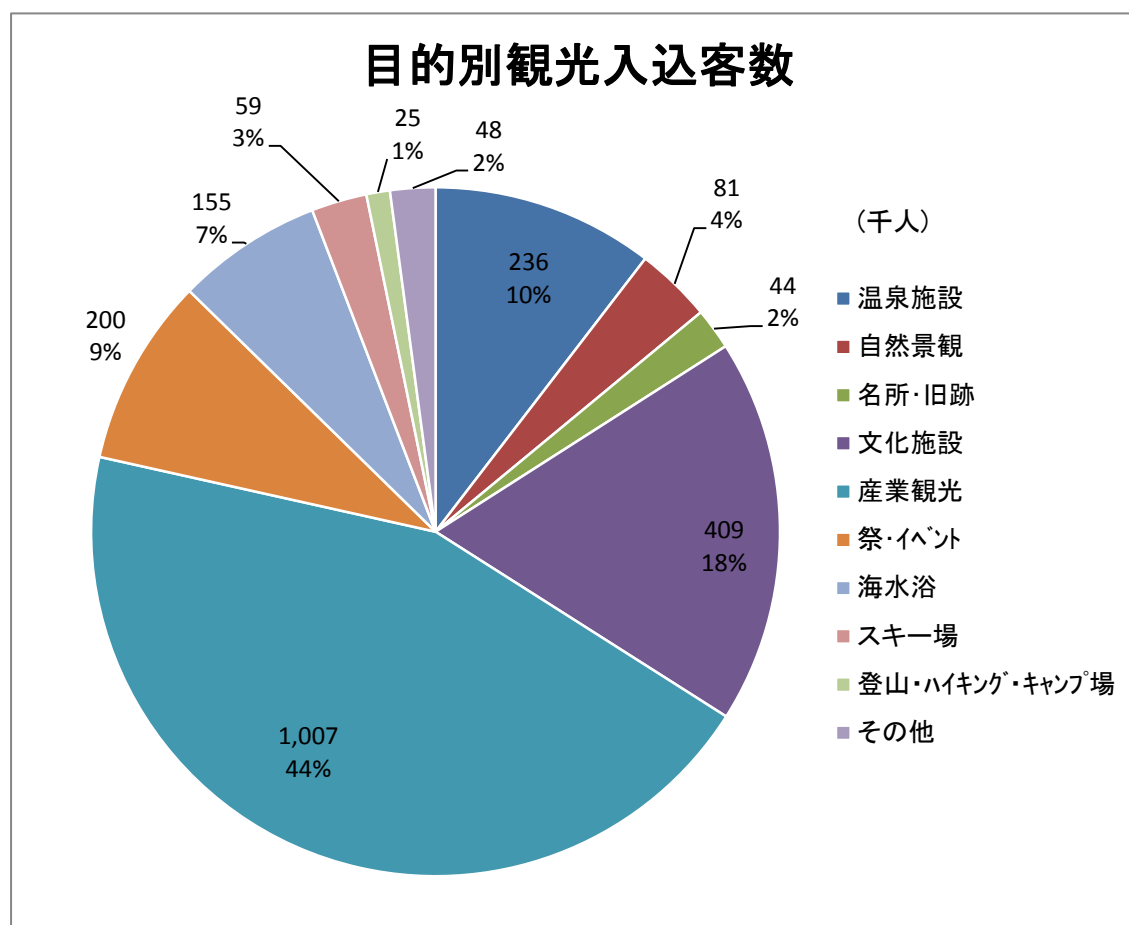
(2) 目的別観光入込客数

- 産業観光が全体の44.5%を占めており、文化施設、温泉施設の順となっている。
- 親不知レンガトンネルの新設により、名所・旧跡が増加した。
- イベント数の減に伴い、祭・イベントの入込が減少した。

(千人)

| | H28 | H27 | 前年差 | 対前年比 | 構成比 | 地点数 |
|----------------|-------|-------|------|--------|--------|-----|
| 温泉施設 | 236 | 242 | -6 | 97.5% | 10.4% | 14 |
| 自然景観 | 81 | 90 | -9 | 90.0% | 3.6% | 9 |
| 名所・旧跡 | 44 | 29 | 15 | 151.7% | 1.9% | 7 |
| 文化施設 | 409 | 477 | -68 | 85.7% | 18.1% | 10 |
| 産業観光 | 1,007 | 1,085 | -78 | 92.8% | 44.5% | 7 |
| 祭・イベント | 200 | 285 | -85 | 70.2% | 8.8% | 41 |
| 海水浴 | 155 | 146 | 9 | 106.2% | 6.8% | 6 |
| スキー場 | 59 | 57 | 2 | 103.5% | 2.6% | 2 |
| 登山・ハイキング・キャンプ場 | 25 | 29 | -4 | 86.2% | 1.1% | 14 |
| その他 | 48 | 47 | 1 | 102.1% | 2.1% | 6 |
| 合計 | 2,264 | 2,487 | -223 | 91.0% | 100.0% | 116 |

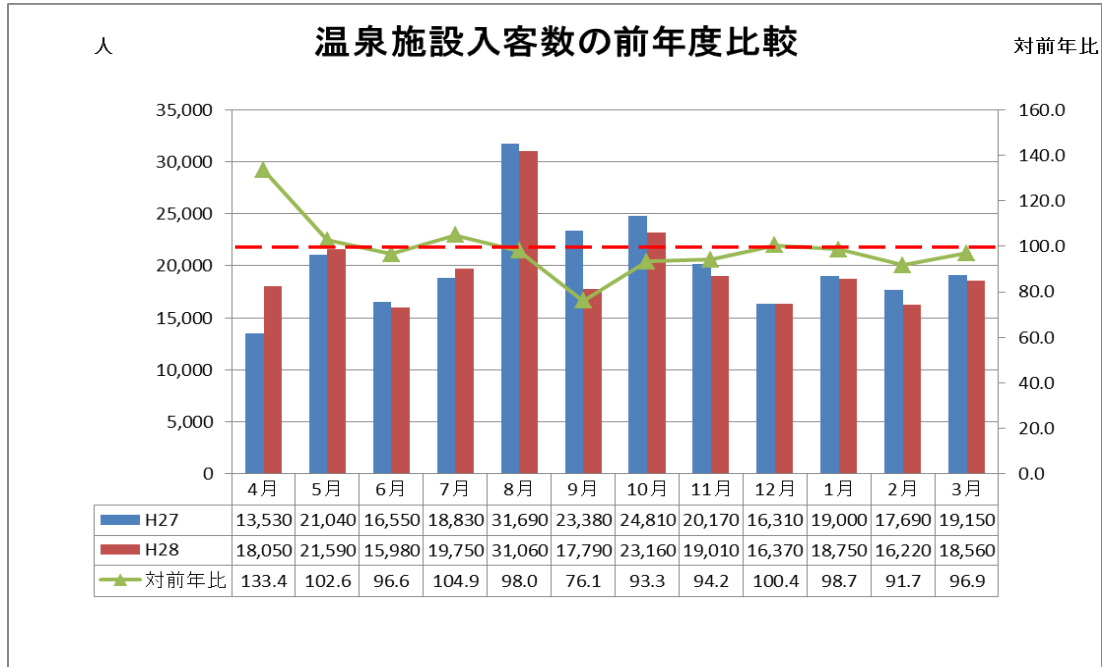
※四捨五入したため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合があります。



3 平成 28 年度の目的別観光入込客数の前年度比較

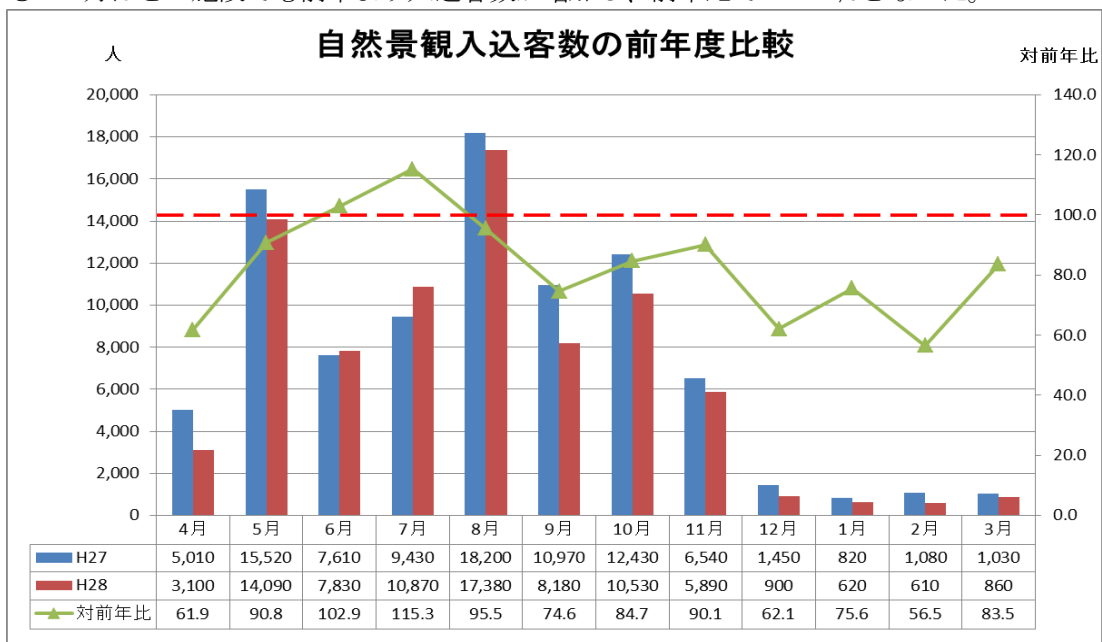
(1) 温泉施設

- ◇ 平成 28 年度 236,290 人（平成 27 年度 242,150 人）前年比 97.6%
- 4 月は、前年に柵口温泉権現荘が休館していたため、前年比 133.4%となった
- 前年同様 8 月の入込客数が年間を通じて最も多いが、前年比 98.0%となった。



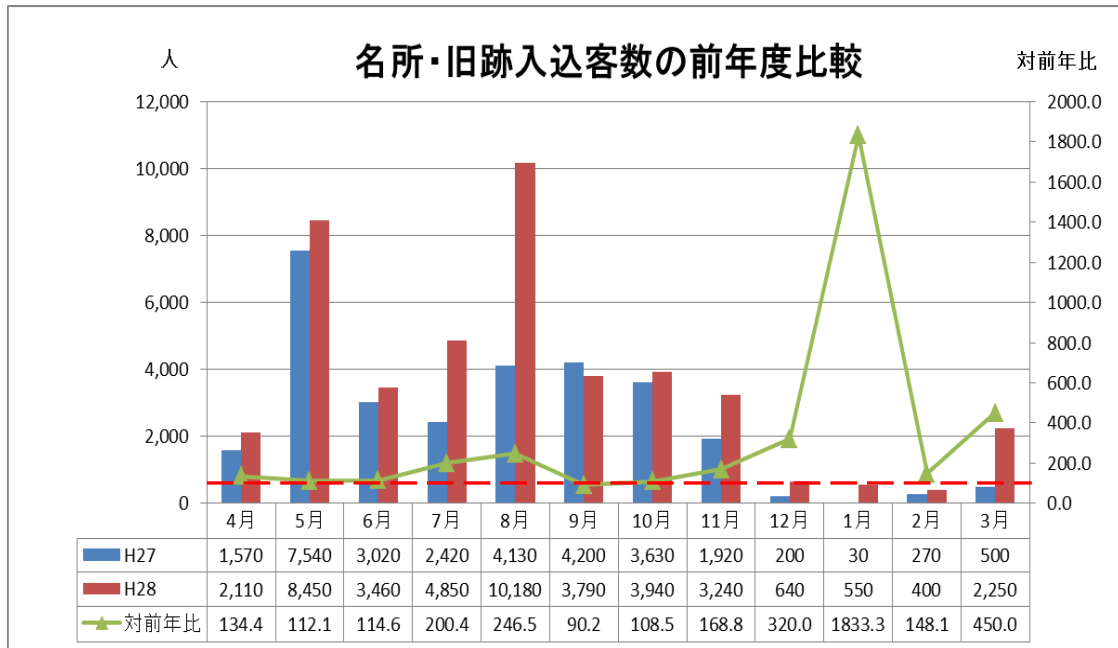
(2) 自然景観

- ◇ 平成 28 年度 80,860 人（平成 27 年度 90,090 人）前年比 89.8%
- 例年 5 月と 8 月の入込客数が多くなっている。
- 7 月はどの施設でも前年より入込客数が増加し、前年比で 115.3%となった。



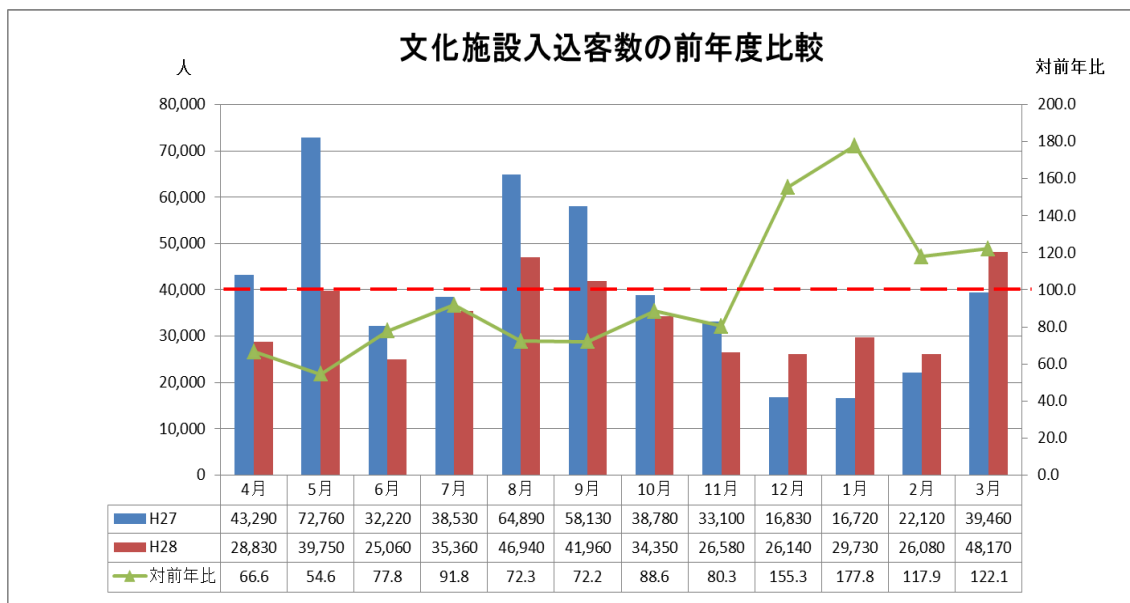
(3) 名所・旧跡

- ◇ 平成28年度 43,860人（平成27年度 29,430人）前年比 149.0%
- 7月から観光施設として親不知レンガトンネルが新設されたため、全体として前年を上回る月が多くなった。
- 1月は、親不知レンガトンネルの入込客数が純増したため高い伸びとなっている。



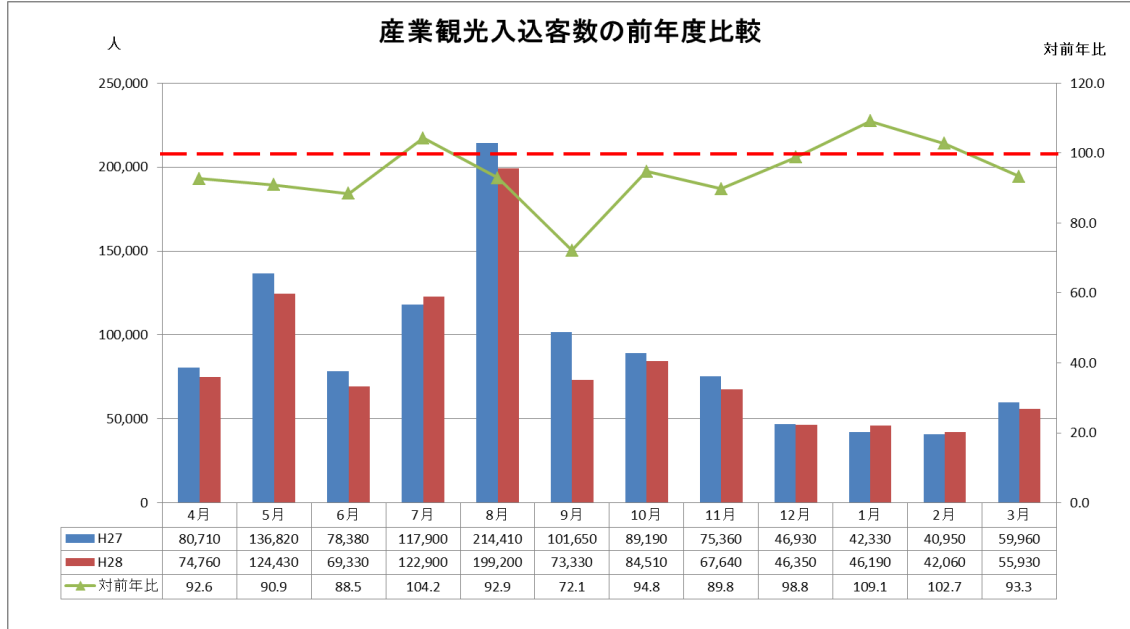
(4) 文化施設

- ◇ 平成28年度 408,950人（平成27年度 476,830人）前年比 85.8%
- 平成28年度は4月から11月まで、前年より入込数が減少している。
- 12月から3月は糸魚川駅北大火の影響もあり、ジオパル等各施設の入込数が増加した。



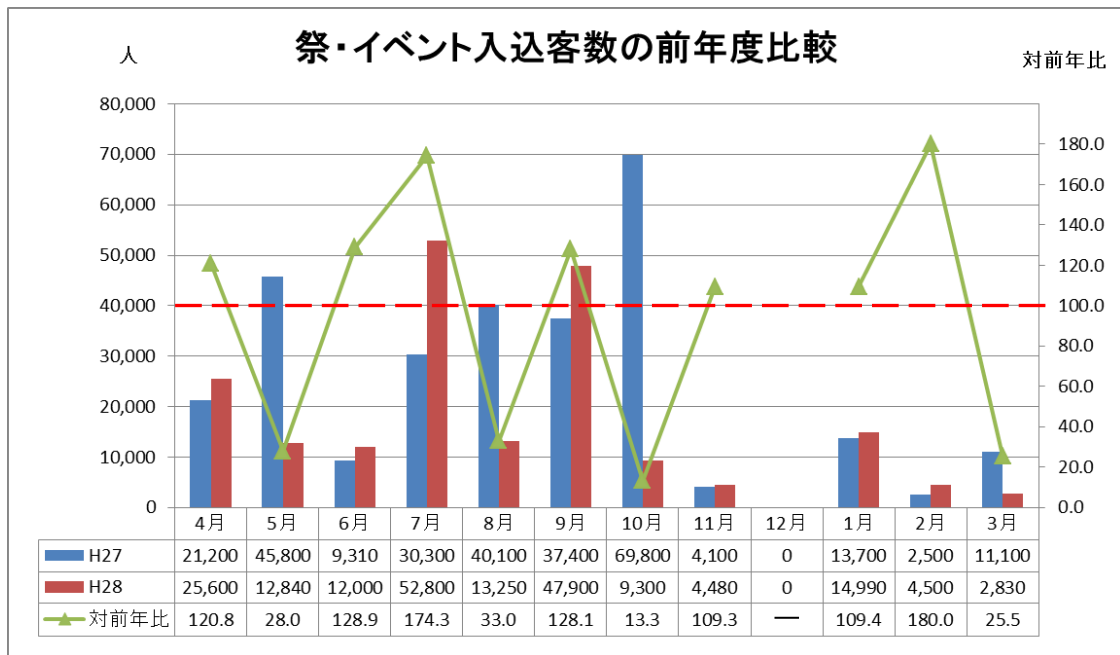
(5) 産業観光

- ◇ 平成 28 年度 1,006,630 人（平成 27 年度 1,084,590 人）前年比 92.8%
- 前年を下回る月が多いが、7 月・1 月・2 月は前年より上回った。
- 1 月は荒波あんこう祭り（糸魚川会場）があり、会場となったヒスイ王国館の入込客数が増加した。



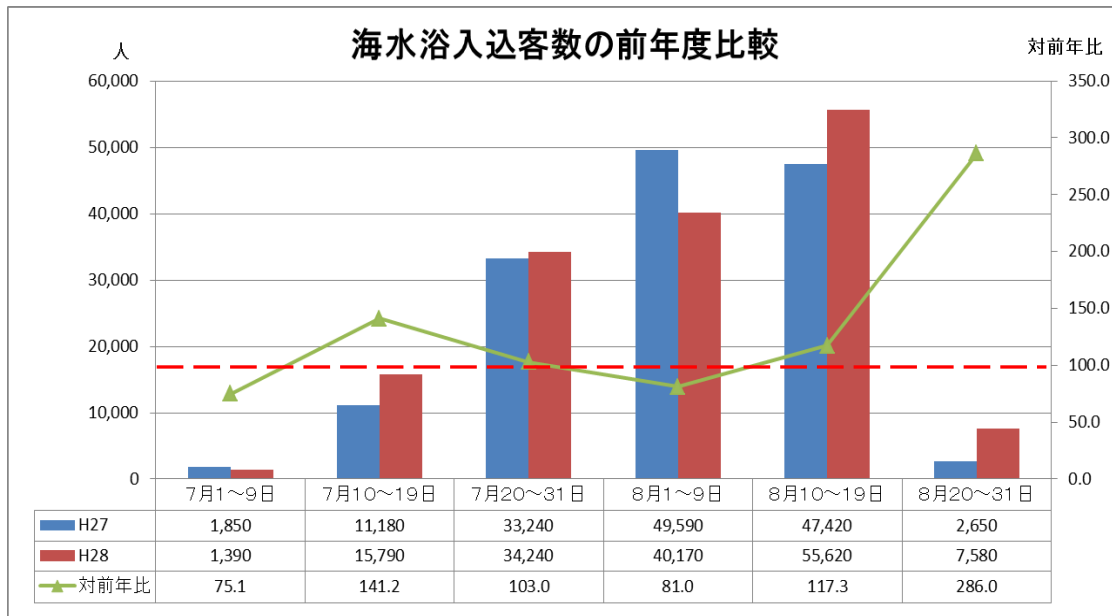
(6) 祭・イベント

- ◇ 平成 28 年度 200,490 人（平成 27 年度 285,310 人）前年比 70.3%
- 平成 28 年度はイベント数の減少により、前年比 70.3%となった。
- 7 月中に糸魚川おまんた祭り（前夜祭・本祭）が実施されたことにより、前年度より突出して入込客数が増加している。



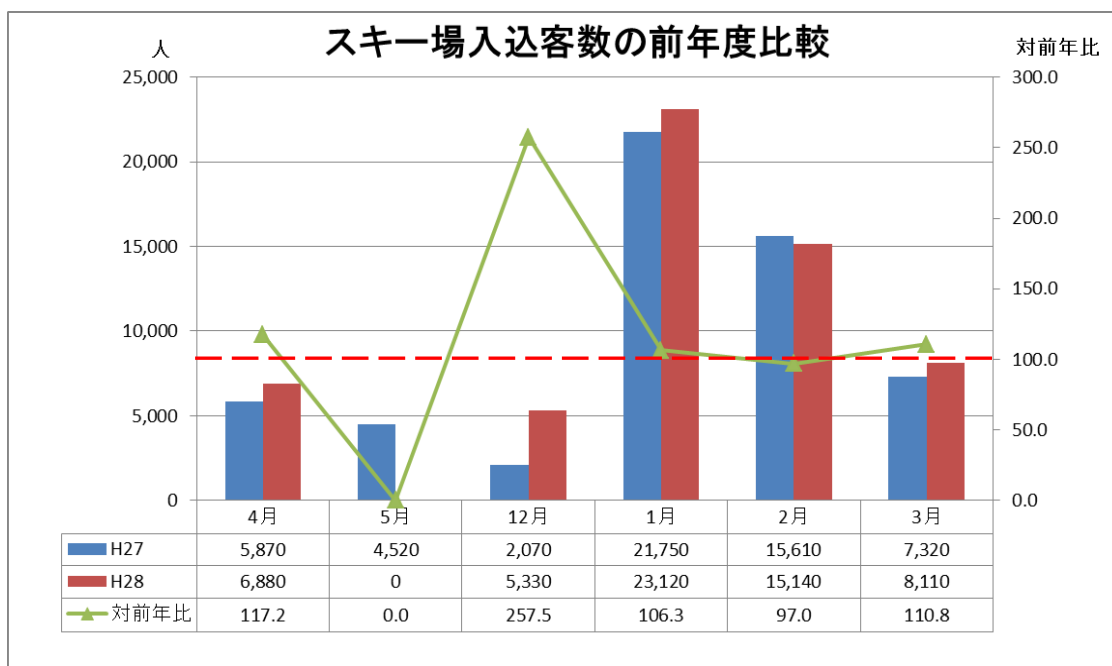
(7) 海水浴

- ◇ 平成 28 年度 154,790 人（平成 27 年度 145,930 人）前年比 106.1%
- 平成 28 年度は、例年より梅雨明けが早く、7 月中は天候に恵まれた日が多かった。
- 8 月上旬は波浪のため遊泳禁止となるなど、前年と比較して入込数が減少した。



(8) スキー場

- ◇ 平成 28 年度 58,580 人（平成 27 年度 57,140 人）前年比 102.5%
- 平成 28 年度の入込数は 1・2 月は伸び悩んだが、12 月から営業ができたことや 3 月まで一定の積雪が保たれたことにより、全体として前年より微増となった。

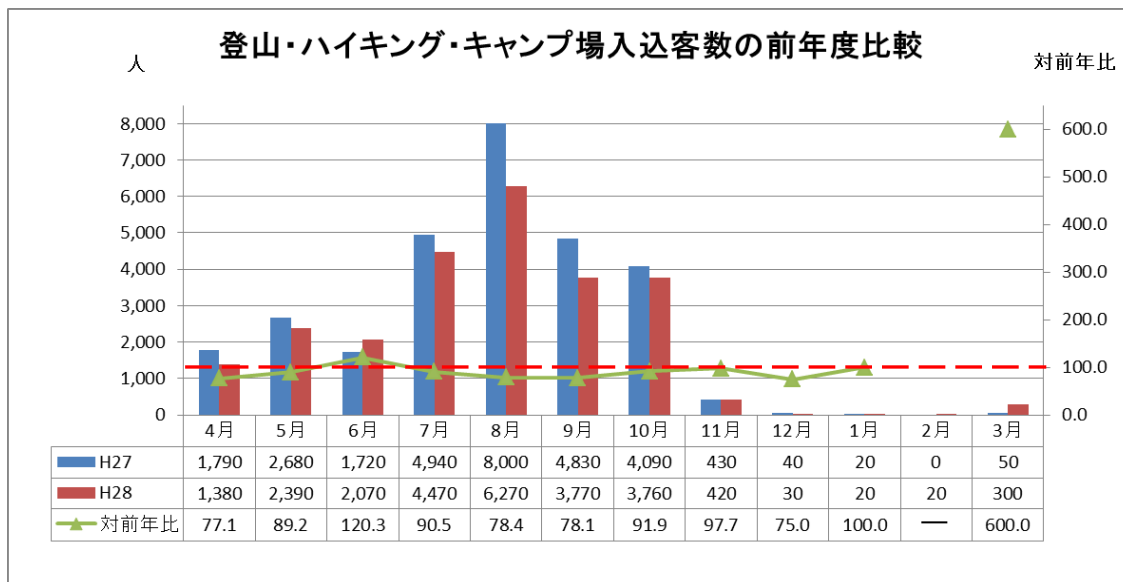


(9) 登山・ハイキング・キャンプ場

◇ 平成28年度 24,900人 (平成27年度 28,590人) 前年比 87.1%

○ 例年、夏季の入込数が多い。須沢オートキャンプ場が8月にオープンした。

○ 3月には白鳥山・朝日岳・雪倉岳の登山者数が増加し、前年度比600%となった。

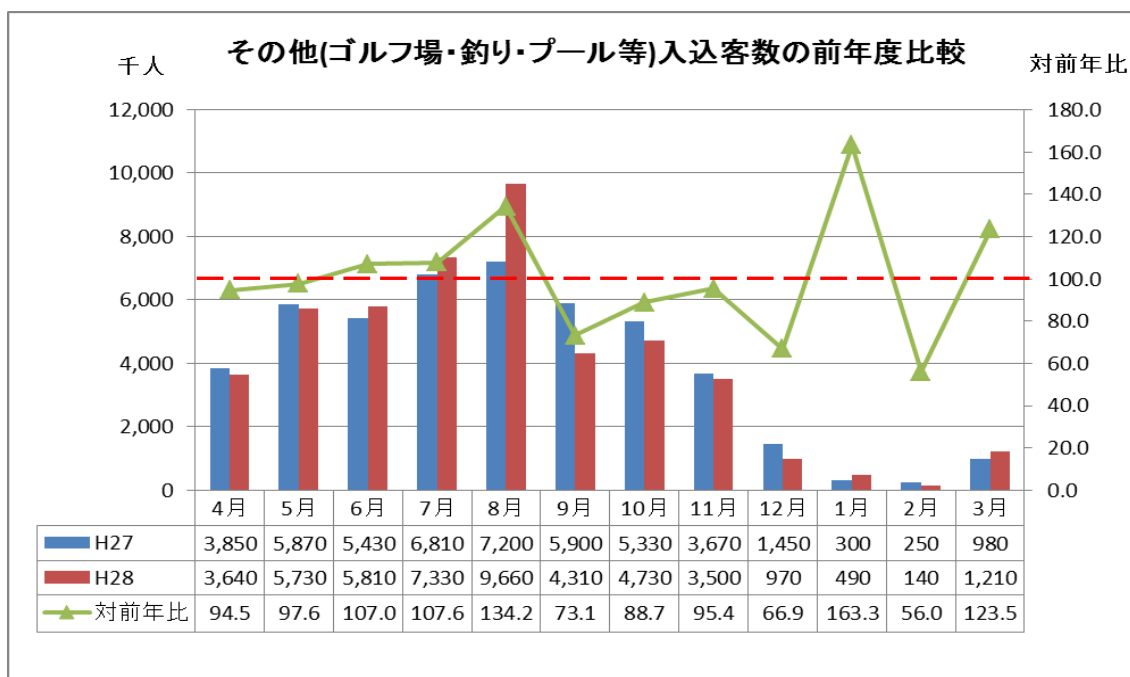


(10) その他(ゴルフ場・釣り・プール等)

◇ 平成28年度 47,520人 (平成27年度 47,040人) 前年比 101.0%

○ 前年度と比較して、6月・7月・8月・1月・3月の入込数が増加した。

○ 全体として前年より微増となった。



Ⅱ 平成 28 年度の宿泊者の入込状況

1 平成 28 年度の宿泊者の入込状況(概況)

- 例年 20 万人弱の宿泊があり、県外客がおよそ 80%を占める。
- 平成 28 年度は前年比 107.4%となった。

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日

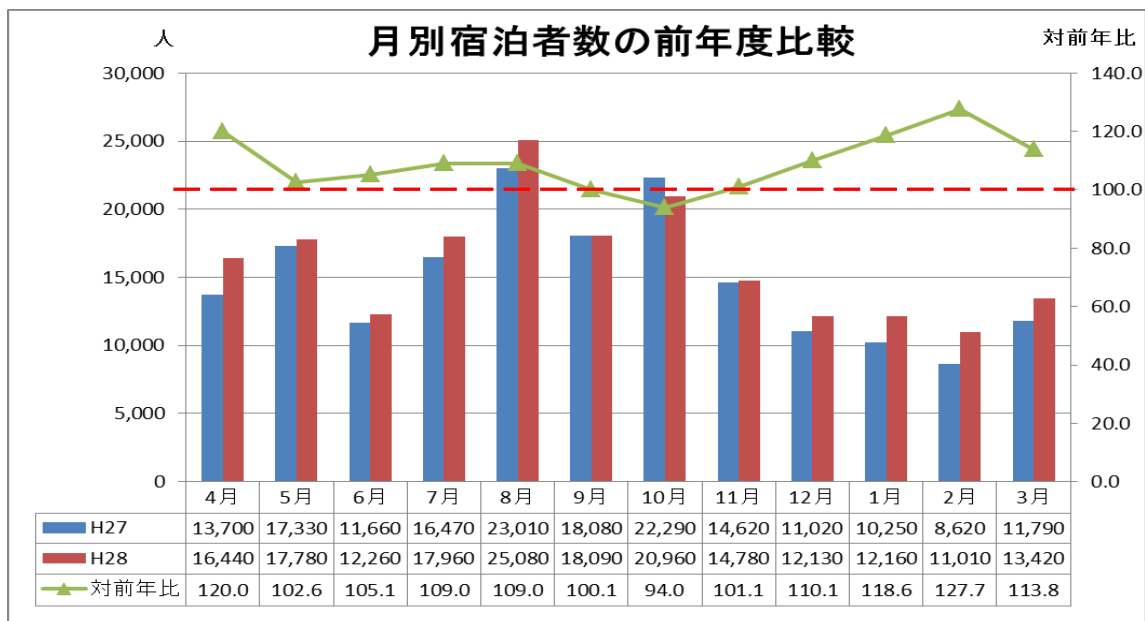
総数 192,070 人 (対前年比 107.4%、13,230 人増)

※ 平成 27 年度総数 178,840 人

2 平成 28 年度の月別・割合別宿泊者数

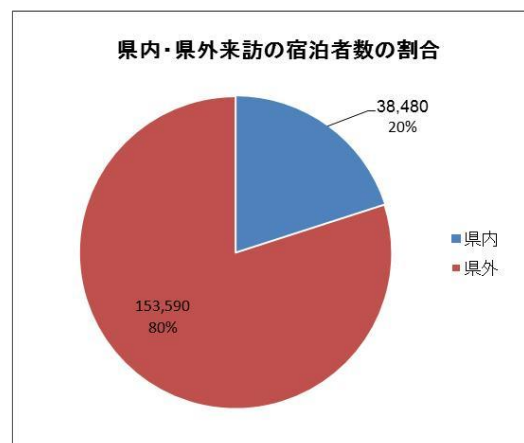
(1) 月別宿泊者数の前年度比較

- 4 月から 9 月にかけては、宿泊施設の新規開業やリニューアルオープンの影響もあり、前年比 120.0%となった。
- 12 月から 3 月は糸魚川駅北大火、2 月・3 月は糸魚川市ふるさと旅行券事業により、宿泊者数が増加した。



(2) 県内・県外来訪の宿泊者数の割合

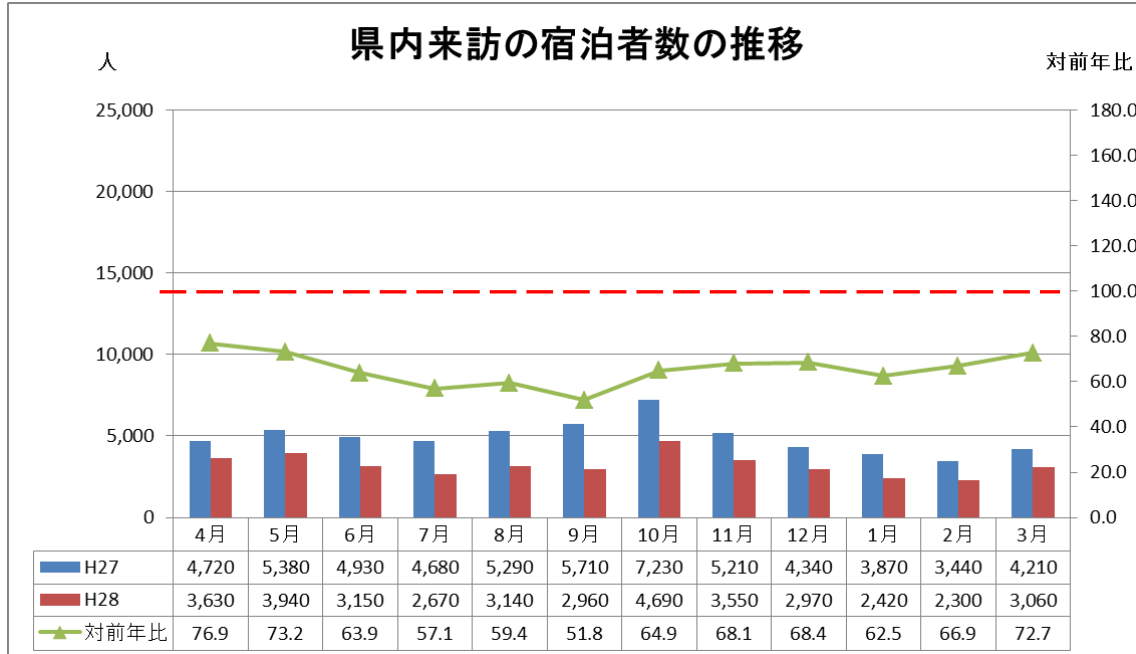
- 県外から来訪した宿泊者が、全体の 80.0%を占め、平成 27 年度の 67.0%から増加した。



3 平成 28 年度の県内・県外宿泊者数の前年度比較

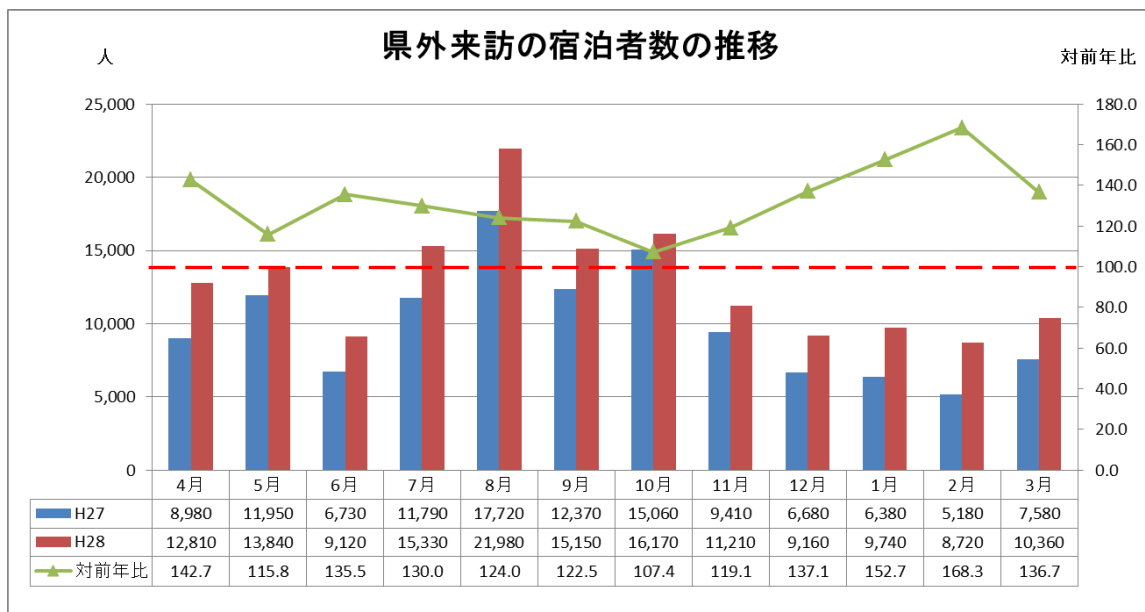
(1) 県内来訪の宿泊者数の前年度比較

- ◇ 平成 28 年度 38,480 人（平成 27 年度 59,010 人）前年比 65.2%
- すべての月において、前年を下回った。



(2) 県外来訪の宿泊者数の前年度比較

- ◇ 平成 28 年度 153,590 人（平成 27 年度 119,830 人）前年比 128.2%
- すべての月において、前年を上回った。
- 12月から3月においては、糸魚川駅北大火や糸魚川ふるさと旅行券事業により、県外からの宿泊者数が増加した。

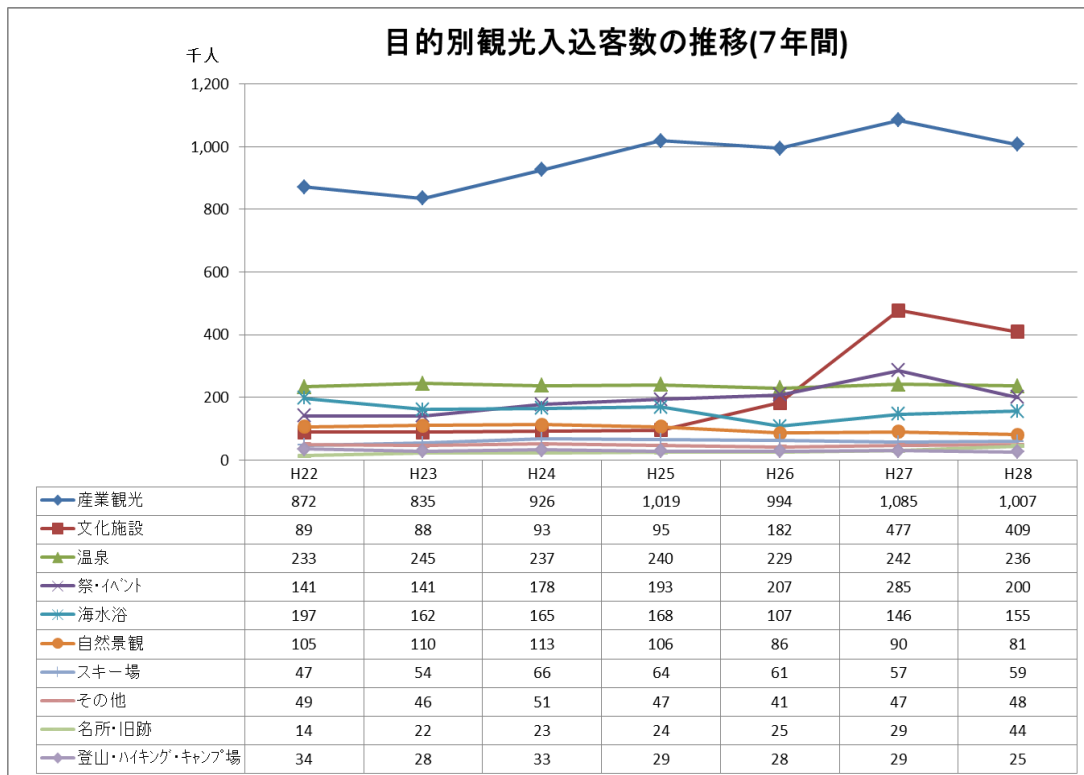
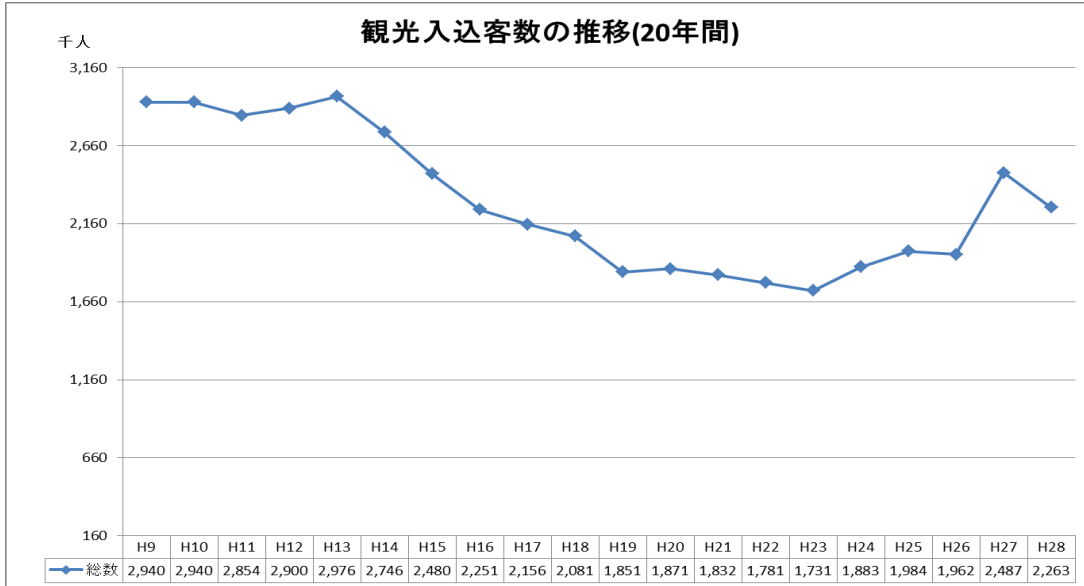


Ⅲ 過去の入込客統計調査との比較

過去の観光入込統計調査の結果を引用し、入込客数推移を比較した。

1 観光入込客数の推移

- 平成13年度の297万人から減少していたが平成24年度から回復基調にある。
- 平成27年度は北陸新幹線の開業の効果や、ジオステーションジオパル、フォッサマグナミュージアム等の文化施設の入込客数が増加したため、伸びている。

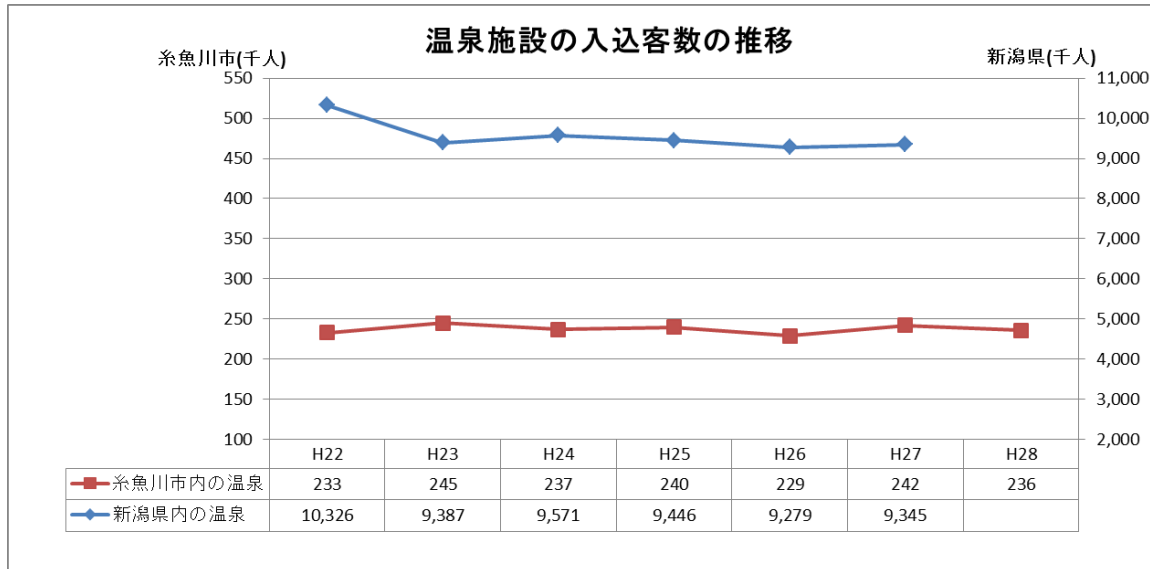


2 目的別観光入込客数の推移と県入込客数との比較

目的別に観光入込客数を集計した。なお、参考のために新潟県の目的別入込客数の推移を公表されている数字をもとに図表に加えた。新潟県の入込統計推移と同様の傾向を示すものについては、新潟県全体に影響となる要因があると考えられる。

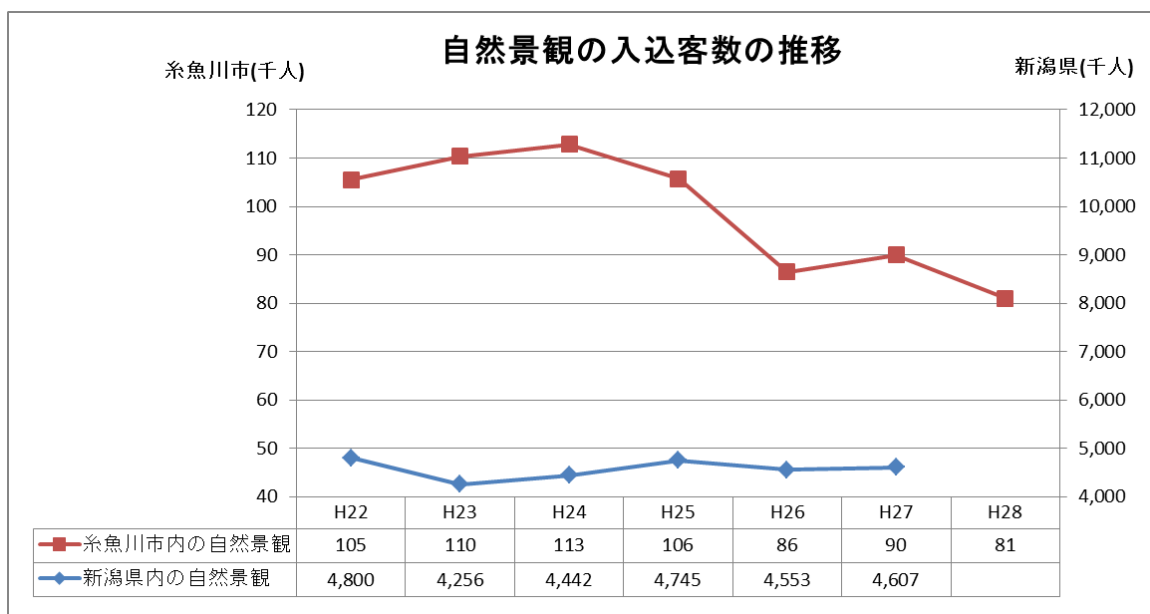
(1) 温泉施設

- 新潟県内の温泉施設の入込客数は、ほぼ減少傾向が続いている。糸魚川市内の温泉施設の入込客数は、24万人から23万人の間で増減を繰り返している。
- 糸魚川市内の温泉施設の観光入込客数は、前年度比97.6%となった。



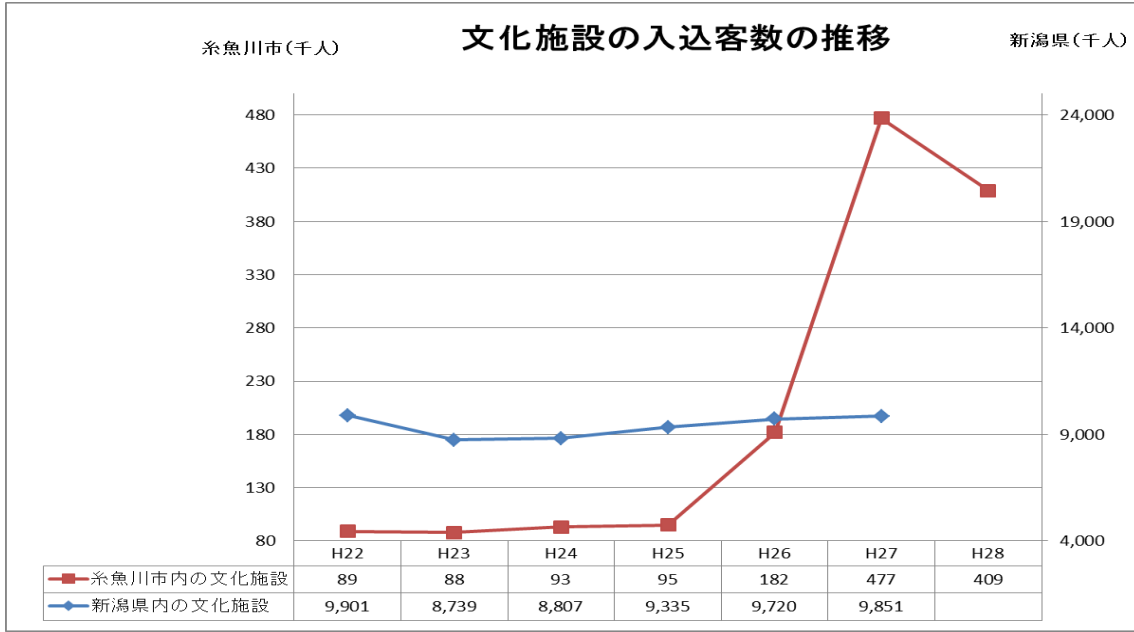
(2) 自然景観

- 新潟県内の自然景観の入込客数は横ばい傾向であるが、糸魚川市内の入込客数は減少傾向にある。
- 糸魚川市内の自然景観の観光入込客数は、前年比89.8%となった。



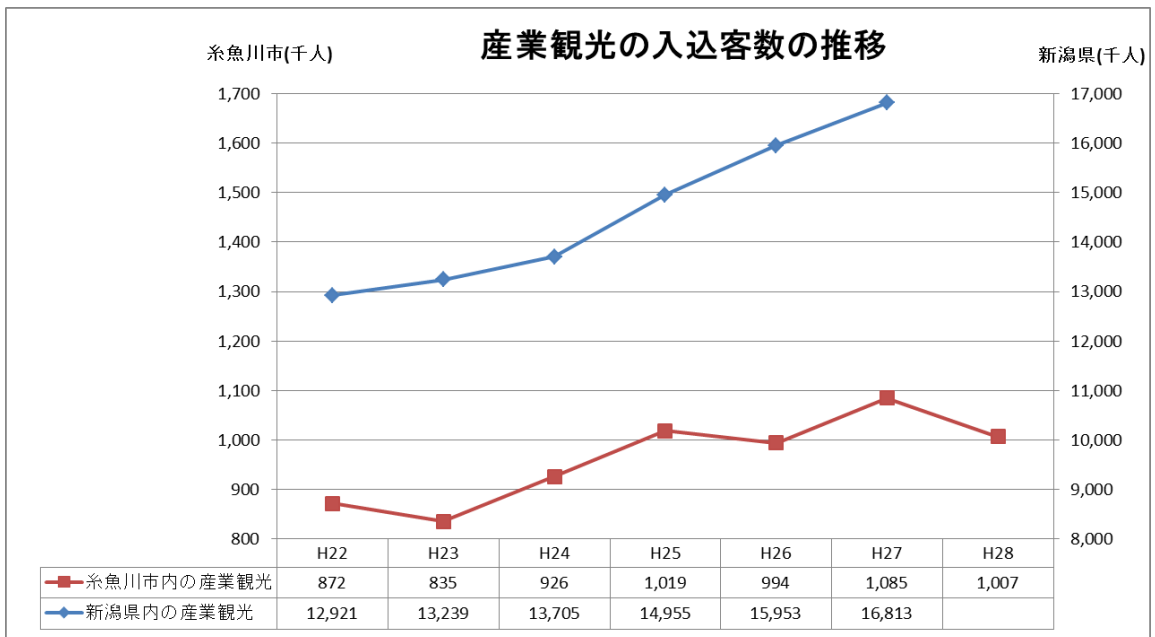
(3) 文化施設

- 新潟県内の文化施設の入込は平成 23 年度から回復傾向にある。
- 糸魚川市内の文化施設は、フォッサマグナミュージアムのリニューアルオープン及びジオステーションジオパルが開業したことにより、平成 27 年度に入込客数が大幅に増加したが、平成 28 年度は前年度比 85.8%となった。



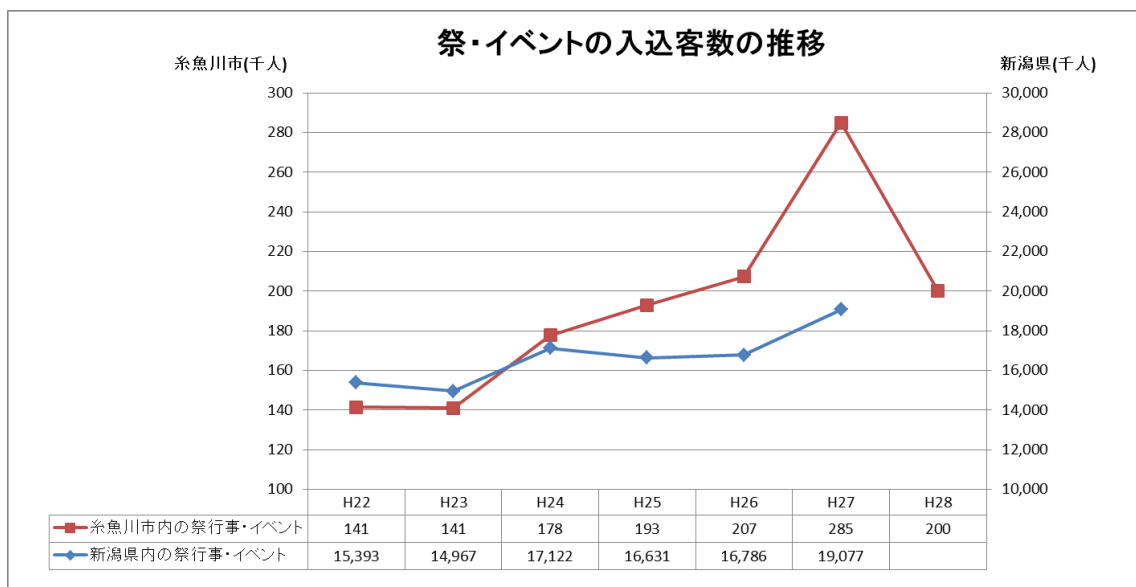
(4) 産業観光

- 糸魚川市内の産業観光の入込客数は、新潟県の入込傾向と同様に増加傾向である。
- 平成 28 年度の糸魚川市内の産業観光の入込客数は、前年度を下回り前年比 92.8%となった。



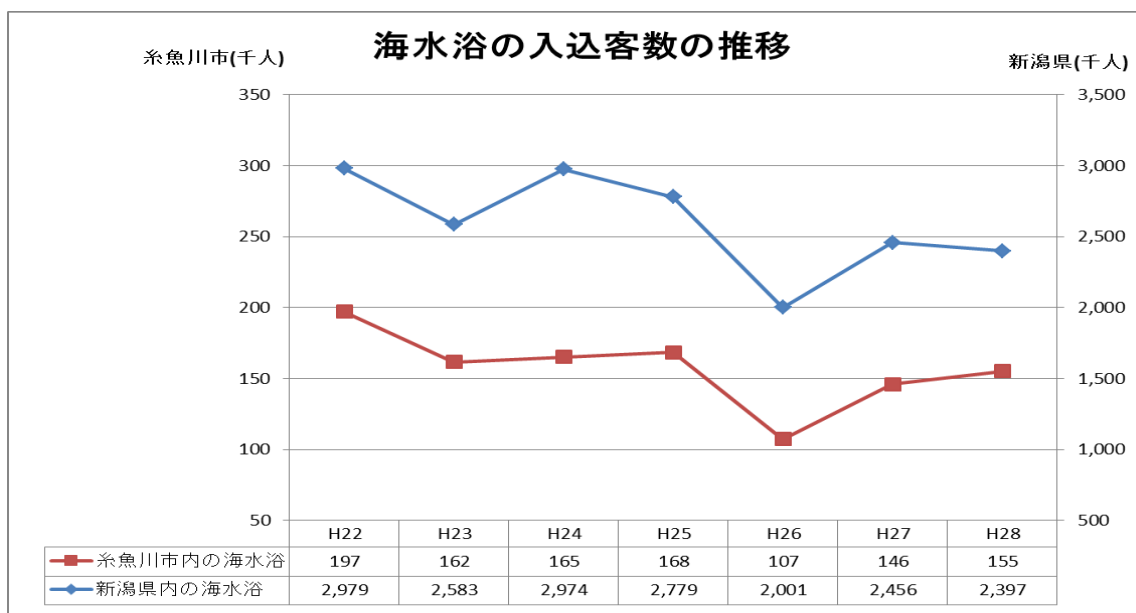
(5) 祭・イベント

- 新潟県内の祭・イベントの入込客数は、増加傾向である。
- 糸魚川市内の祭り・イベントの入込客数は、平成 27 年度、北陸新幹線開業イベントや食のイベントがあり増加したが、平成 28 年度はイベント数の減により入込客数が減少し、対前年比 70.3%となった。



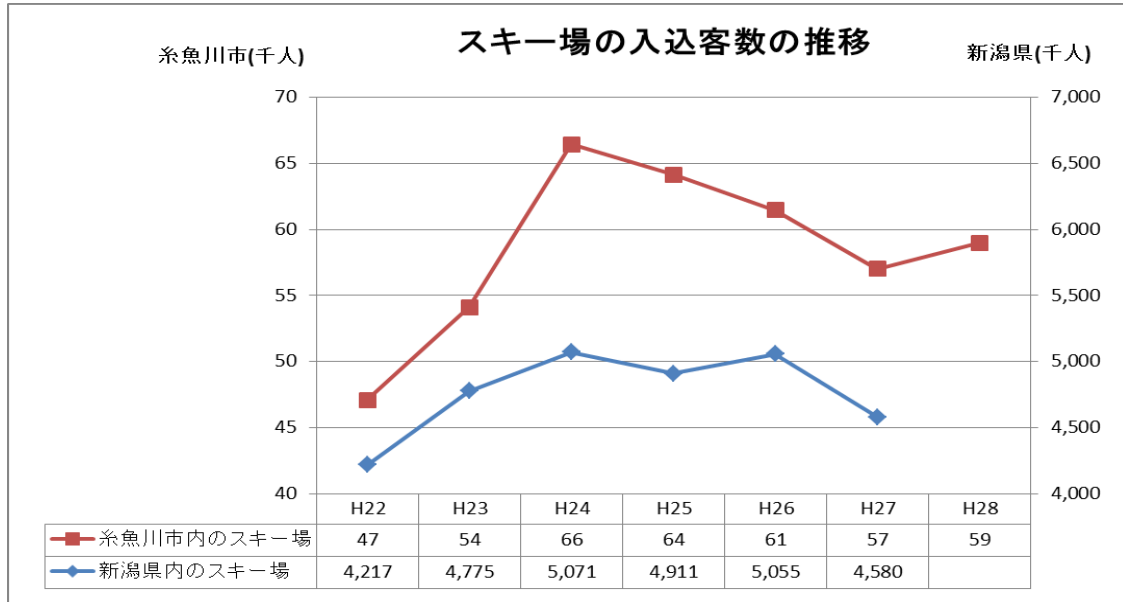
(6) 海水浴

- 新潟県内の海水浴の入込客数と、糸魚川市内の入込客数は同様の傾向を示す。
- 平成 28 年度は、例年より梅雨明けが早く、7月中は天候に恵まれた日が多かったことが影響し、前年比 106.1%となった。



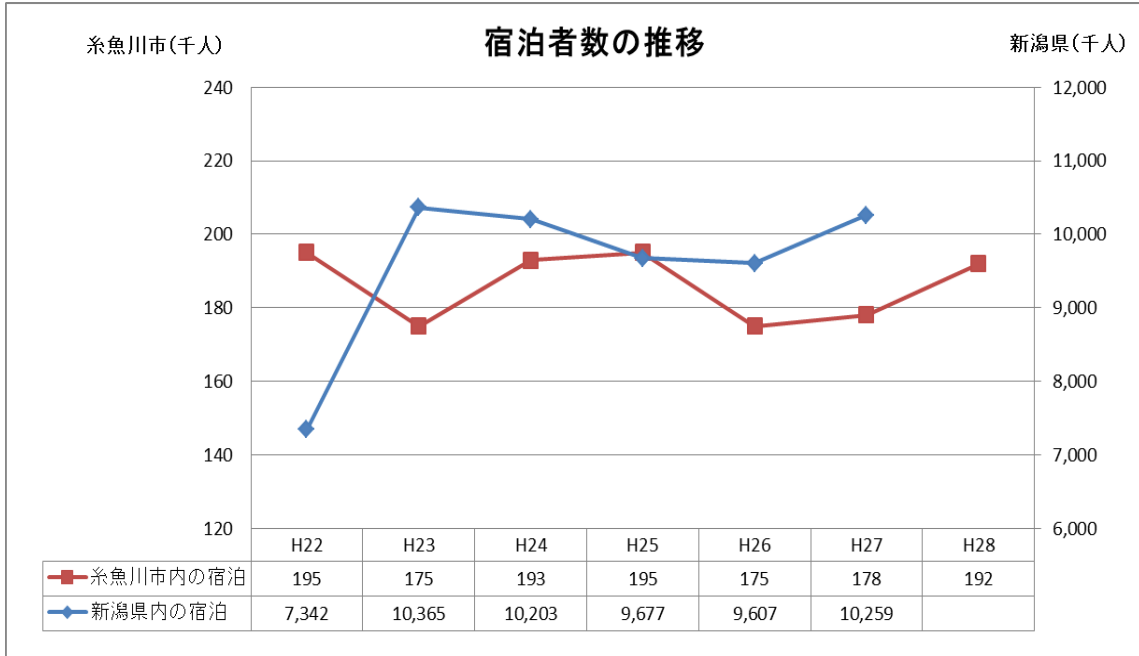
(7) スキー場

- 新潟県内のスキー場の入込客数と糸魚川市内の入込客数は同様の傾向を示す。
- 平成 28 年度は、12 月からスキー場をオープンできたことで、前年比 102.5%となった。



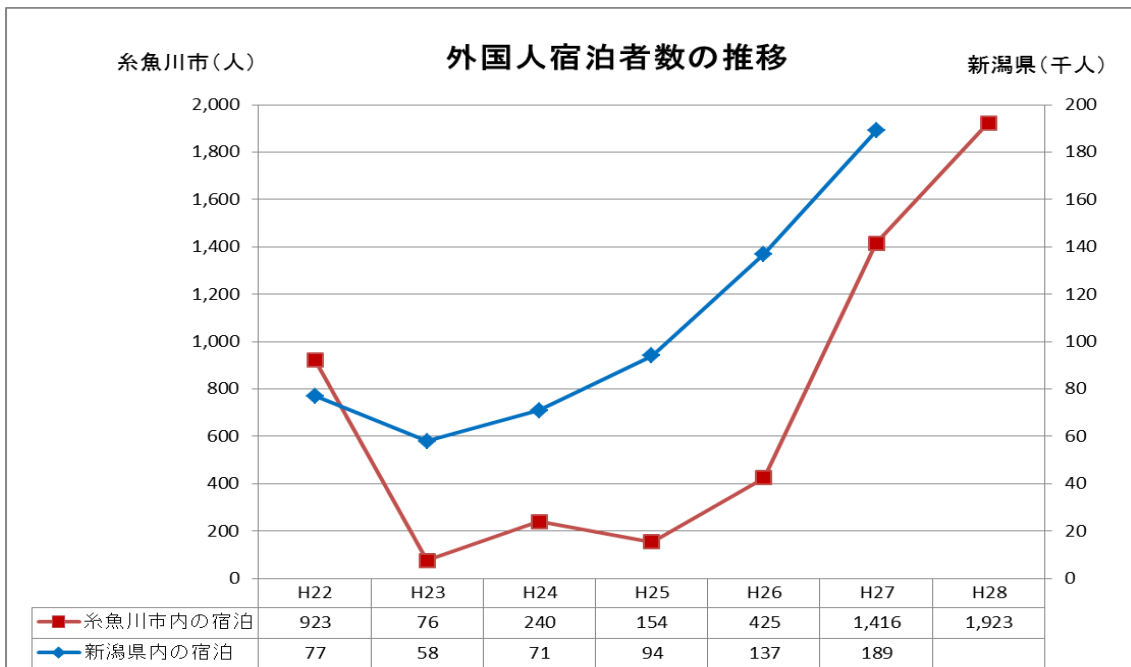
3 宿泊者数の推移と県入込客数との比較

- 新潟県内の宿泊者数は平成 23 年に 1,000 万人を突破し、概ねその水準を維持している。
- 糸魚川市内の宿泊者数は、平成 27 年度より増加傾向に転じている。
- 平成 28 年度の糸魚川市内の宿泊者数は前年比 107.4%となった。



4 外国人宿泊者数の推移と県入込客数との比較

- 糸魚川市内の外国人宿泊者数は、新潟県と同様の傾向を示す。
- 平成 28 年度の糸魚川市内の外国人宿泊者数は、前年比 135.8%と大幅に増加した。



IV 経済効果

観光による経済効果を観光庁が平成 23 年 3 月に公表した M I C E (Meeting, Incentive, Convention, Event / Exhibition) 測定モデルを用いて試算した。

1 平成 28 年度の観光における経済効果

平成 28 年度の観光における経済効果を、MICE 測定モデルを用いて試算した。

- 直接効果は 200 億円、間接 1 次波及効果が 157 億円、間接 2 次波及効果が 90 億円、経済波及効果は 447 億円と試算される。

| 指標 | 金額 | 単位 |
|---------------|-----|----|
| 1. 直接効果 | 200 | 億円 |
| 2. 間接 1 次波及効果 | 157 | 億円 |
| 3. 間接 2 次波及効果 | 90 | 億円 |
| 経済波及効果(1+2+3) | 447 | 億円 |

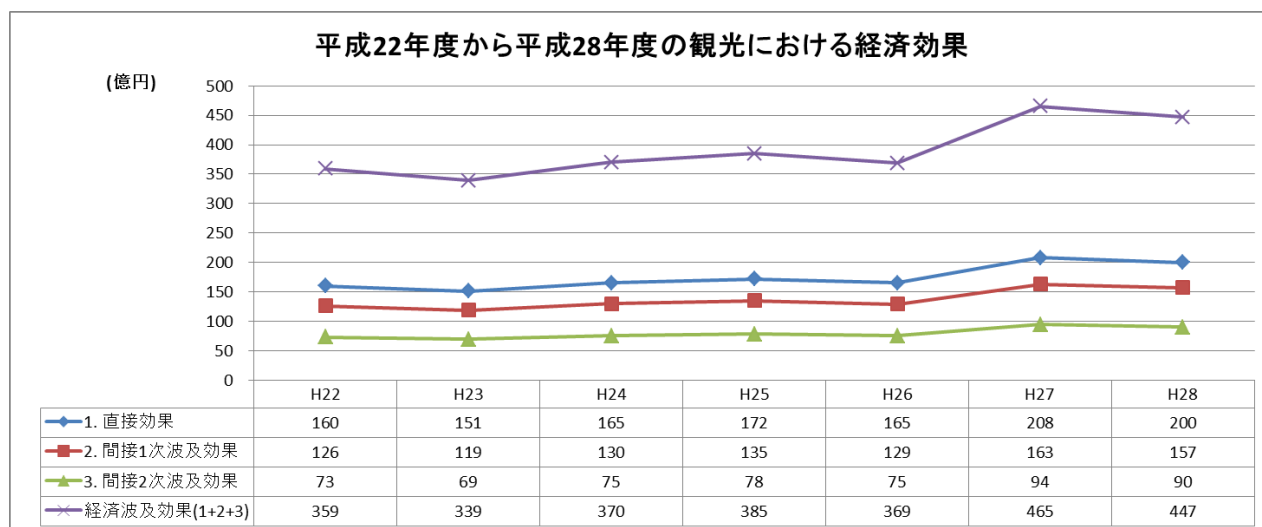
2 過去の観光における経済効果

平成 22 年度から過去 7 年間の観光における経済効果を試算した。

- 平成 27 年度は北陸新幹線糸魚川駅が開業したこともあり、465 億となっている。
- 平成 28 年度は、447 億円となり微減した。

(億円)

| 指標 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1.直接効果 | 160 | 151 | 165 | 172 | 165 | 208 | 200 |
| 2.間接 1 次波及効果 | 126 | 119 | 130 | 135 | 129 | 163 | 157 |
| 3.間接 2 次波及効果 | 73 | 69 | 75 | 78 | 75 | 94 | 90 |
| 経済波及効果(1+2+3) | 359 | 339 | 370 | 385 | 369 | 465 | 447 |



V 平成 28 年度に講じた施策

総合計画に基づき、平成 28 年度において交流人口を拡大させるため講じた主な施策は、以下のとおりである。

1 誘客宣伝活動の促進

(1) 観光素材の磨き上げ

- 海と山が近接している地形を生かし、それぞれの魅力を磨き上げ誘客を図る事業を実施

① 海の魅力アップ推進計画事業

- ・「夏だ！海だ！糸魚川へ行こうキャンペーン」実施
- ・須沢オートキャンプ場の整備
- ・親不知海岸ライブカメラ設置

② 山の魅力アップ推進計画策定

- ・検討委員会……………5 回開催
- ・計画策定 ……………平成 29 年 3 月



(2) 観光情報の発信

- インターネットを積極的に利用し、糸魚川の魅力を発信
- 糸魚川市観光協会が観光情報のワンストップ窓口となるよう連携強化

① ホームページ（糸魚川観光ガイド）による情報発信

- ・新着情報、イベントカレンダー等の更新
- ・観光施設、観光素材の情報発信

② SNS（facebook ページ 糸魚川世界ジオパーク）での情報発信

- ・いいね数 1,988

③ 観光案内所の開設（4 か所）

- ・案内所問合せ件数……………31,581 件（対前年比 102%）

④ 観光パンフレット請求件数……………243 件

(3) 効果的な宣伝活動の強化

- 様々なメディアを利用した広告出稿や市外キャンペーンの実施

| 項目 | 内容 | 回数 |
|----------|-----------|------|
| 広告出稿 | テレビ | 9 回 |
| | 新聞 | 3 回 |
| | 雑誌 | 3 回 |
| | インターネット | 1 回 |
| | その他 | 2 回 |
| 観光キャンペーン | 市外での観光 PR | 26 回 |

(4) イベント等の実施と支援

- 糸魚川の認知度を向上させるため、市内イベント等に対する支援
 - ・多様な主体が実施するイベントへの助成……21 団体

(5) 観光関連産業の活性化と地域振興

- 市内の宿泊数が落ち込む2月～4月にかけて、宿泊に使えるプレミアム旅行券（購入価格以上の額面券）を発行することで、市内全体の宿泊数の底上げを図るとともに、市内への消費喚起・地域振興を図る事業を実施

① ふるさと旅行券の販売

- ・概要…5,000円分の旅行券(宿泊券)を2,500円で購入可能(2,500円のプレミアム)
- ・販売期間…平成29年1月20日(金)～平成29年4月28日(金)
- ・利用期間…平成29年2月1日(水)～平成29年4月28日(金) ※宿泊日基準
- ・利用宿泊施設…市内17施設
- ・発売箇所…大手コンビニエンスストア
- ・販売枚数…4,000枚(1月20日即日完売)
- ・利用枚数…1泊1人当たり10,000円未満の場合1枚
1泊1人当たり10,000円以上の場合2枚まで
連泊は1人当たり最大3連泊まで



【追加販売決定 (2/2)】

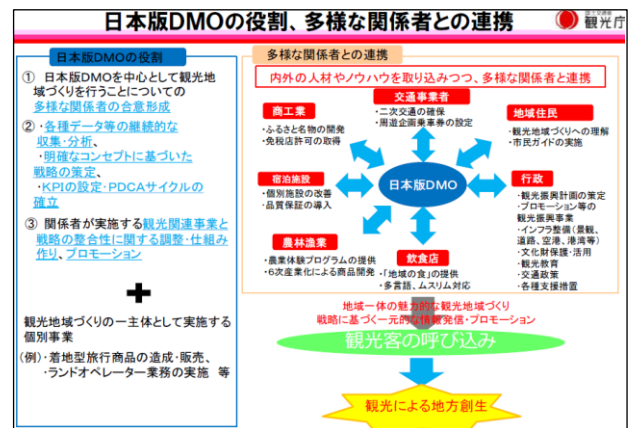
- ・販売期間…平成29年2月8日(水)～平成29年4月28日(金)
- ・販売枚数…2,000枚(2月8日即日完売)

2 受入態勢の充実

(1) 観光地域づくりに向けた連携強化

- 糸魚川版DMOの取組の第1段階として、糸魚川市観光協会の法人化や旅行業取得を行った。

- ① 糸魚川市観光協会の法人化 (平成29年1月24日)
- ② (一社) 糸魚川市観光協会の第2種旅行業取得 (平成29年3月14日)



(2) 体験型観光の推進

- 地域資源を活かした旅行商品の開発を行い、旅行エージェントなどとの連携を進め誘客を図った。(体験型観光、一般観光、モニターツアー等の調整)

・ 18 ツアー 5,458 人泊

(3) 広域観光連携の推進

- 広域連携のメリットを活かし、インバウンド観光の取組を行った。
- 大糸線の魅力を伝えることにより、北アルプス日本海エリアへの誘客を図った。

①北アルプス日本海広域観光連携会議

(ア) 連携市町村

長野県大町市、長野県白馬村、長野県小谷村、富山県朝日町、新潟県上越市
新潟県糸魚川市 計6市町村

(イ) 主な事業内容

(i) ビジットジャパン地方連携事業

- ・ ターゲット…台湾、サイクルリスト
- ・ 事業内容 …セールスコール、モニターツアー、パンフレット製作

(ii) 関西旅行エージェントモニターツアー

- ・ 参加者…商品造成担当者 11 名

(iii) 大糸線キハストラッププレゼント

キャンペーン

- ・ 応募総数…1,000 名



(4) 観光施設の整備運営

- 観光客の満足度を高めるような施設運営の実施

| 施設名 | 入込客数 (人) |
|-----------------|----------|
| ジオステーションジオパル | 280,860 |
| シャルマン火打スキー場 | 33,220 |
| 糸魚川シーサイドバレースキー場 | 25,360 |
| 翡翠園・玉翠園・谷村美術館 | 19,930 |
| 白馬山麓国民休養地 | 16,130 |

(5) 新幹線に対応した観光交通の確保

- 北陸新幹線などの鉄道を利用し糸魚川に来られる方の利便性を向上させることにより、誘客を図った。

① 定期観光バス

- ・ 実施期間…年 5 回 計 48 日間
- ・ 利用実績…325 人

② 親不知ピアパーク・マリンドリーム能生 シャトルバス

- ・ 実施期間…平成 28 年 7 月 30 日～平成 28 年 8 月 21 日 23 日間（毎日運行）
平成 29 年 1 月 21 日～平成 29 年 2 月 5 日 6 日間（土日）
- ・ 利用実績…389 人

③ 白馬岳登山バス

- ・ 実施期間…平成 28 年 8 月 27 日～平成 28 年 10 月 10 日（土日祝など）
- ・ 利用実績…422 人

(6) インバウンド観光の推進

- 白馬に來訪している外国人をターゲットにお食事バスを運行することで、糸魚川を知ってもらうきっかけづくりを行った。
- 民間団体と連携を行い商談会などへ参加

① 糸魚川シーフードシャトルバス

- ・ 実施期間…平成 29 年 1 月 5 日～平成 29 年 2 月 2 日 12 日間
- ・ 利用実績…125 人

② インバウンド推進委員会との連携

- ・ Travel Mart2016（政府観光局主催）の参加
- ・ おもてなし講座「英語メニュー実践編」の開催
- ・ エージェント等の受入対応



ジオまる

ぬーな

糸魚川ユネスコ世界ジオパーク マスコットキャラクター

糸魚川市の観光の状況について（平成 28 年度版）
（平成 29 年 6 月発行）

編集・発行 糸魚川市産業部交流観光課
〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮 1 丁目 2 番 5 号
TEL 025-552-1511 FAX 025-552-7372